

Apprissが主力ウェブアプリケーションで サーバーをGlassFishから

ApprissがGlassFish 3からGlassFish 4に移行しようとしたところ、大きな問題が生じ、立ち往生してしまいました。Payaraはこれらの問題を解決しただけではなく、Apprissが提供する主力の顧客対応ウェブアプリケーションが年中無休のエキスパートサポートが受けられるようにしました。

Payaraへの切り替え

ApprissはGlassFish 3からGlassFish 4に移行しようとしたところ、問題が発生し、移行作業を完了できずにいました。Payaraは原因を突き止め、これを解決した後、すべてのApprissのGlassFishサーバーにあったアプリケーションとサービスをPayara Serverに移行させました。

また、Payara Supportチームは、Apprissのエンジニアとパソコン画面を共有し、問題を再現し、この解決方法を説明して、問題を解決しました。Apprissは、Payaraのサポートポータルにログインすれば、未解決の問題、そのトラックステータス、行動履歴をすぐに確認できる点も高く評価しています。

Payaraではサーバーやクラスタが複数台ある環境に対し、フレキシブルなオプションと料金プランを提供しており、Apprissはニーズに最も合った最適なプランを選択することができました。また、本格稼働に移る前の開発段階では、Migration & Project Supportサービスのサポートを購入していて良かったと評価しています。ApprissはPayaraと協力し、Migration & Project Support段階で問題を特定してから、プロダクション環境をPayara Serverに移行しました。

結果

ApprissはGlassFish 3で稼働させていたすべてのアプリケーションをPayara Serverに移行しました。これは、同社のデータセンター移行プロジェクトで最も重要なプロセスでした。

現在、Apprissでは、複数の主力顧客対応ウェブアプリケーションをPayara Server上で実行しています。さらに、同社のコアとなるデータ収集ネットワークおよび通知プラットフォームも、Payara Serverで稼働するサービスに接続しています。Payara Supportは対応が早く、パッチプログラムやホットフィックスも頻繁にリリースされるため、Apprissが直面する問題にすぐに対応できる点も極めて大きなメリットであると言えます。

詳細はwww.payara.fish

をご覧ください。弊社までメール (info@payara.fish) でお問い合わせください

Apprissについて

Appriss, Inc. (旧社名: Interactive Systems およびThe VINE Company) は、1994年に設立されました。同社は政府機関と連携し、米国初となる被害者自動通知システムを開発しました。VINE®システムは米国随一の被害者自動通知システムで、被害者に年間4000万通以上の通知を行なっています。

2016年初頭、Apprissは業界別にカスタマイズしたデータソリューションを提供するため、「治安部」「ヘルスケア部」「小売事業部」の3事業部に分化しました。

事業内容: 小売事業、ヘルスケア、治安対策用データソリューション

本社所在地: 米国・ケンタッキー州ルイビル

弊社提供サービス: プロダクションサポート

技術: Java EE, GlassFish, Payara Server



APPRISS®
Knowledge for good.™